

令和6年度 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

中間共有会 資料

活動団体の活動におけるテーマ 『物流改善で観光地住民満足度向上』

活動団体の活動地域：沖縄県 八重山郡

活動団体名：八重山離島配送協議会

中間支援主体名：八重山離島の物流課題解決プロジェクト

活動計画（概要）

物流改善＝離島生活に好影響＝離島を守る人が育つ
島を開発せず守りながら、小さな不便を解消
離島特産品も直売し、経済も潤う地域循環



- ・ 協議会定例開催
- ・ 共通ルールの整備
- ・ 離島コミュニティ連携



- ・ 離島へ物流システムの向上
- ・ 共通ルールの策定と実施
- ・ 離島住民生活の質向上
- ・ 地元産品の販売促進と向上
- ・ 住民意見を反映した構造化
- ・ 離島ごとの活動者、賛同者
- ・ 離島部会の協力

地域の現状

- ・ 小さな不便が重なる島嶼地域では地域の人材が流出
- ・ 離島売店は高単価のため、住民は石垣島に買物、離島売店は売れ行き悪化の悪循環
- ・ 石垣島に依存する生活必需品
- ・ 貨物船に冷蔵設備がなく、客船に積まれた夥しい商品は安全航路の影響も懸念されています

3か年状態目標

2026年度末の状態目標

- ・ 離島配送の持続可能な仕組みが確立し、安定運用が始まる
- ・ 協議会の活動が、他地域のモデルケースとして評価される
- ・ 高校生や若者世代が主導する新たなプロジェクトが生まれ、地域づくりの循環ができる
- ・ 地域住民の意識変革が進み、「後片付け世代」としての意識が根付き始める

2025年度末の状態目標

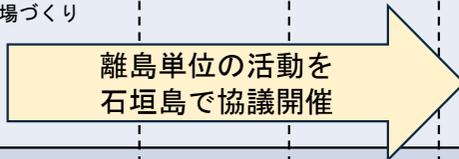
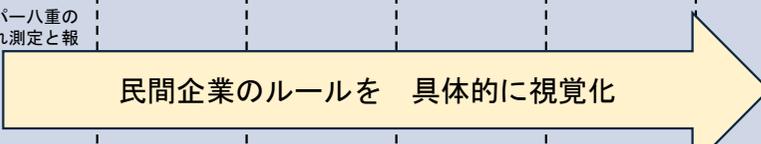
- ・ 離島配送の運用ルールが整理され、関係者間の合意形成が進む
- ・ 一部の施策（有償化・売店支援・住民啓発活動など）が試験運用され、フィードバックが得られる
- ・ 地域住民・スーパー・行政の協力体制が強まり、実質的な負担軽減が進む
- ・ 地域学生や若者と地域課題活動の理解や認知が広まり、取り組み範囲が広がっている

2024年度末の状態目標

- ・ 協議会の活動が地域に定着し、関係者の認知度と理解が向上する
- ・ スーパー・船会社・行政・住民が関わる具体的な改善案が可視化され、実行段階に入る
- ・ アンケート結果や意見交換を通じ、持続可能な離島配送の方向性が見え始める
- ・ 高校生や若い世代の関与が始まり、新たな視点が加わる

活動・支援のプロセスの振り返り

■R6年度活動・支援内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
共通の活動	八重山離島配送協議会開催船会社、スーパー4社、港湾課等と協議	各者に先月の協議会の振り返り。活動の理解と定着、今後の方針の調整	離島売店経営者の仲間作り、連携	現在の離島配送状況を現場視察	西表島小売店同士の連携強化にむけ、サンエー等大型店への報告方針づくり	波照間島売店経営者たちの協議会連携、とりくみ	西表島小売店協議会設立に向けた方針や話し合い	西表島小売店協議会設立に向けた方針や話し合い	12/5 離島売店とスーパー4社の話し合いの場 開催	12月開催の内容を実施するためのマイルストーンづくりと実行	西表島小売店協議会による大手量販店と連携に向けた骨子づくり	新ルール策定、施行にむけた取り組み	
活動団体の活動①	西表島地区離島売店と中間支援組織で対面ミーティング	サンエーの課題感を中間支援組織に報告。 八重山観光フェリーの課長、過去の事例や現状の詳細を中間支援組織に共有	西表島上原地区スーパー八重 経営者夫婦とオンラインミーティング	黒島公民館長の協議会の理解 波照間島青年会会長、協議会の理解	八重山観光課長、客船船積み規制を悪質な2社に注意。 西表島で「離島小売店」経営者どうしの話し合い	波照間島青年会会長と離島売店経営者、中間支援組織と対面協議の場づくり	西表島小売店協議会設立に向け、売店店主と協議	「西表島小売店協議会」設立発表	離島売店、スーパー4社が話し合いのための資料づくり	4スーパー同士のルールやサービス見直しが始まる	4スーパー同士のルールやサービスの理解を地域に広報やアンケート開始	4スーパーのルール等を船会社と地域に報告 地域の理解や協力を得るための活動	
活動団体の活動②	サンエー本社、食品副部長に協議会の取組み共有	石垣島に依頼し、西表島白浜地区「海神祭」のオードブル買物と配送の実証実験 離島売店夫婦がドンキ視察、今後の仕入れ連携について調査	サンエー店長、港配送状況の現場視察 スーパー八重の仕入れ測定と報告	西表島売店経営者とサンエー店長の協議	安栄観光、竹富島、波照間島の定期船減便表明								
活動団体の活動②													
中間支援主体の活動①	西表島上原地区訪問 離島売店視察、店主と面談、懇親	サンエー店長、配送担当者との意見協議。 八重山観光フェリー課長と協議	西表島売店経営者とオンライン、内容を資料化	黒島、公民館長と対面、波照間島青年会会長とオンライン、各協議会の理解と連携について話し合い	活動団体代表と協議懇親、今後の方針について サンエー店長と西表島売店経営者の協議の場づくり	波照間島訪問、仲間作り、売店経営者と懇親、連携理解 波照間島飲食店経営者と協議 波照間島青年会副会長と対面協議	竹富町女性連合会波照間島担当者と安栄の減便についてオンライン協議	中間共有会に向けた資料づくり	離島売店とスーパー4社の話し合いの場準備補助	黒島、波照間島訪問で売店や公民館の理解、連携	アンケート情報のまとめ、広報活動補助	利用者意見とスーパー側の意見をすり合わせ補助	
中間支援主体の活動②		サンエー本社の副部長と対面。協議会の説明									離島住民に協議会からアンケート作成の補助		

活動・支援のプロセスの振り返り

■今年度、地域循環共生圏づくりのポイントとして注力したアクションサイクル①

仲間を探す 体制を整える

中間支援主体の支援

- 上記アクションサイクルの取組を活動団体が進めるにあたっての見立て

地域課題の可視化と協働促進が鍵

- 具体的な支援内容（打ち手）

各関係者の意見収集・調整・実践支援の強化

- 打ち手による活動団体の変化（意識・行動・活動の進捗）

主体的な課題解決・協働意識の向上

- 中間支援主体としての気づき・成長
多様な関係者と連携する調整力の向上

活動団体の取組

- 活動名・時期

- ・ 八重山離島配送協議会 会議開催
- ・ 西表島小売店協議会設立
- ・ コミュニティラジオやSNSでの情報発信

- なぜそれを実施したのか（実施目的）

多様なステークホルダーが関与しており、一部の組織や個人だけでは解決が困難なため。

- 実施したことによって共生圏づくりにどのような変化が起きたか（活動団体自身の変化・周囲の変化等の共生圏づくりに関わる進捗）

各島の住民、スーパー関係者、船会社などが現状と課題を共有し、協力の必要性を認識する動きが広がった。

活動・支援のプロセスの振り返り

- 今年度、力を入れて取り組んだ中間支援は？

協働ガバナンスの項目	中間支援機能	項目（番号）	支援をしたタイミング等
運営制度の設計	プロセス支援	(3) ①	話し合いの場づくり 島単位も含む
チェンジエージェント機能	調査情報収集	(1) ①	離島訪問により島内の連携も高めつつ情報共有 課題提起

- 共生圏づくりを進めるために、活動団体の能力をどう引き出せたか

- ・ 関係者を一同に集める機会を作ったことで各島民が感じていた共通課題を視覚化したこと。協働の場づくりで、課題感が一致した。
- ・ 未来の為に今から良くしようと参加意欲が高まった。
- ・ スーパーや船会社なども各自が言いたいことが言え他ので相互理解を深めることができた。

- 中間支援主体として向上したと思う中間支援機能

- ・ コミュニティラジオを始めたことで、情報発信を強化しながら、地域の関係者との繋がりがりや交流を増やすことができた。
- ・ AIを駆使し課題を答えるチャットボットを作成したことで関係者の情報を収集しやすることができた。

- 課題だと感じたこと

島嶼地域上、対面回数が少なくなる。
ステークホルダーが多様なため、調整が難しいこともある

地域循環共生圏づくりに向けた次のアクション

- 地域循環共生圏づくりのために、どのような中間支援機能を発揮できるといいと考えているか。R7～中間支援主体として今後どのようになりたいか。

高校生との協働活動を通じ、地域課題の「見える化」と「発信力」を強化。AIやデータ活用で現状を整理し、多様な視点を取り入れた情報共有の仕組みを構築。地域内外への発信力を高める

- 活動団体がアクションサイクルを回せるようにするための次年度の見立て・打ち手（具体的な支援策）

船会社やスーパーのルールを地域住民に深く理解してもらい、それを円滑に運用するための実行機能を整備

利用者向けの説明会や啓発活動を実施

- 地方・全国事務局にサポートしてもらえると嬉しいこと

お互いに活動を支え合い、素晴らしい事例や成功体験があれば、ぜひ情報交換できると嬉しいです。さらに、私たちはコミュニティラジオも運営しているので、ぜひご出演いただき、八重山とのつながりを深めながら、コミュニティの輪をより広げていけたらと思います。